

対象国の条件:地震、津波等の分野のJICA事業を実施中、検討中の国が望ましい。

研修コース番号:201984776-J002

案件番号:201984776

主分野課題:都市開発・地域開発/その他都市開発・地域開発

副分野課題:防災/総合防災

使用言語:英語

案件概要

近年、世界各国において地震や津波などの大災害が発生し、甚大な被害を引き起こしている。安全な建築物は人々の生命を守るが、秩序なく建設された建築物は人々の生命を奪う。安全な建築物は、適切な建築基準と規制システムを通じて建設される。この点を踏まえ、本研修は、日本の経験に基づいて、建築基準、建築規制システム及び建築防災政策に関する知見を習得するものである。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 建築基準、建築規制システム、建設部門の能力開発により、建築物に対する災害被害が軽減される。</p> <p>【成果】 1. 日本の建築基準、建築規制システム及び建築防災政策について理解する。 2. 習得した知識を基に、自国の建築基準、建築規制システムについての課題を特定する。 3. 自国の課題解決のためにプロポーザルを作成する。</p>	<p>【対象組織】 建築基準、規制システム、建築防災政策の施策に関わる政府及び政府関係機関及びこれに関係する機関（地方政府などの実施機関、基準作成に関わる研究機関、実務者の指導的機関など）</p> <p>【対象人材】 1. 上記組織に所属し、建築基準の制定、規制システムの整備・実施に関わっており、指導的立場になることが期待される者 2. 建築行政、建築設計、建築構造等の建築技術関係の経験を5年以上有する者 3. 大学卒業または同等の資格を有する者 4. 原則として50歳以下の者</p>	
<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>【事前活動】 インセプションレポートの作成</p> <p>【本邦研修】 1. 日本の建築規制</p> <p>2. 防災政策 災害緩和政策、地震と津波のメカニズム、地震からの復興、地震災害対策、地震/津波災害及びツール</p> <p>3. 構造安全性 鉄筋コンクリート建設、鉄骨構造、木造住宅、免震システム、地震補強</p> <p>4. 火災や台風等の災害に対する安全性 耐火性試験方法、耐火性建築基準</p> <p>5. 国際協力 地震災害に対して安全性の高いノンエンジニアド住宅、途上国において、途上国における建築物防災対策</p> <p>※なお、本研修では、研修を通じた「知識共創 (Knowledge Co-creation)」の実現を図るために、アクティブラーニングメソッドを導入予定です。</p>	<p>本邦研修期間</p>	<p>2019/6～2019/7</p>
	<p>担当課題部</p>	<p>社会基盤・平和構築部</p>
	<p>所管国内機関</p>	<p>JICA東京（経済環境）</p>
	<p>関係省庁</p>	<p>国土交通省（建設）</p>
	<p>実施年度</p>	<p>2018～2020</p>
<p>主要協力機関</p>	<p>一般財団法人日本建築センター</p>	
<p>特記事項 及び ホームページ</p>		